

令和8年1月29日

気象庁

全般海上警報 XML (R08) の解説

全体構成

タグ	解説
Report	
└Control	管理部。
└Title	“全般海上警報(定時)(R08)”と記述する。
└DateTime	“2008-08-29T00:10:00Z”のように協定世界時で記述する。未来時刻にはならない。
└Status	“通常”、“訓練”、“試験”のいずれかを運用状況に応じて記述する。
└EditorialOffice	“気象庁本庁”と記述する。
└PublishingOffice	“気象庁”と記述する。
└Head	ヘッダ部。Head の詳細を参照。
└Body	内容部。Body の詳細を参照。

Head 部の詳細

タグ	解説
Head	
└Title	“全般海上警報”と記述する。
└ReportDateTime	本情報の公式な発表時刻を、“2008-08-29T00:12:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
└TargetDateTime	本情報の対象となる基点時刻を、“2008-08-29T00:12:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
└ValidDateTime	本情報の失効時刻を、“2008-08-29T00:12:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
└EventID	値は記述しない(空タグとする)。
└InfoType	“発表”または“訂正”的いずれかを記述する。
└Serial	値は記述しない(空タグとする)。
└InfoKind	“全般海上警報”と記述する。
└InfoKindVersion	スキーマの運用種別情報のバージョンを記述する。本解説のバージョン番号は“1.0_3”。
└Headline	Headline の詳細を参照。

Headline の詳細

Headline 要素は、個々の海上警報とその領域を示す。

タグ	解説
Headline	
└Text	値は記述しない(空タグとする)。
└Information	見出し文。見出しの内容を記載。
└@type	“全般海上警報”と記述する。
└Item	
└Kind	
└Name	“海上濃霧警報”のような海上警報名を記述する。ただし、海上警報が発表されていない場合は“海上警報なし”と記述する。
└Code	“22”(海上暴風警報のコード番号)のように海上警報名に対応する海上警報コード番号を記述する。ただし、「海上警報なし」のときは本要素を省略する。
└Areas	
└@codeType	“全般海上海域名”と記述する。
└Area	警戒域の情報を記述する。
└Name	“熱帯低気圧”、“低気圧”、“緯度経度領域”のいずれかの警戒域の要因や分類、または“日本海西部”のように警戒域の海域名を記述する。記述が海域名かどうかは、次要素として Code 要素が存在するかで判別する。なお、“海上警報なし”的場合は、“全般海上予報区”と記述する。
└Code	警戒域が海域名である場合、“9030”のように全般海上海域名コード番号を記述する。警戒域が海域名ではない場合や“全般海上予報区”的場合は、本要素を省略する。
└jmx_eb:Circle	警戒域を円で示すときの諸要素を記述する。気象状況に応じて、本要素下の jmx_eb:BasePoint@type の属性値を次のいずれかの組み合わせでとり、必要回数繰り返す。

	<ul style="list-style-type: none"> “実況位置(度)”のみ…1回 “24時間後位置(度)”のみ…1回 “実況位置(度)”、“24時間後位置(度)”…2回 “実況位置(度)”、“12時間後位置(度)”、“24時間後位置(度)”…3回
@type	“影響範囲”と記述する。
jmx_eb:BasePoint	低気圧などのじょう乱 または予報円の中心位置を“+23.6+139.1/”のように記述する。ただし、警報低気圧(本要素を含む Item 要素下の Kind/Name 要素値が“海上暴風警報”または“海上強風警報”となっていて、本要素を含む Area 要素下の Name が“低気圧”となっているもの。以下同じ。)であつて、24時間後の予報円のない場合は@type 属性値を“24時間後位置(度)”とした上で値は記述しない(空タグとする)。
@type	じょう乱の“実況位置(度)”、“12時間後位置(度)”、“24時間後位置(度)”のいずれかを記述する。
@description	じょう乱または予報円の中心位置を“北緯23. 6度東経139. 1度”のように文章として記述する。ただし、警報低気圧であつて、24時間後の予報円のない場合は省略する。
jmx_eb:Axes	警戒域をじょう乱や予報円の中心位置からの距離で示す場合に、中心位置からの半径(大きさ、方向)を記述する要素。全方位等距離で示す場合と、片側に広く、他方に狭く示す場合がある。例えば、本要素を含む Areas 要素下の jmx_eb:BasePoint@type 属性値が“24時間後位置(度)”の場合は、じょう乱を中心とした24時間以内の最大の警戒域の大きさを示す。
jmx_eb:Axis	警戒域をじょう乱や予報円の中心位置から等距離で記述する場合は、「jmx_eb:Axis」を1つ記述する。2方向の距離で記述する場合は、長半径と短半径の「jmx_eb:Axis」を2つ記述する。
jmx_eb:Direction	2方向の距離で記述する場合、本要素を含む Axis 要素下で示す軸方向を“北西”的ように記述する。警戒域が全方位等距離の場合、値は記述しない(空タグとする)。
@type	“方向”と記述する。
@unit	“8方位漢字”と記述する。

	└@condition	警戒域が全方位等距離の場合、“全域”と記述する。それ以外の場合は本属性を省略する。
	└@description	警戒域が全方位等距離の場合、“全域”と文章として記述する。それ以外の場合は本属性を省略する。
	└jmx_eb:Radius	警戒域の半径を海里単位で、“270”のように記述する。
	└@type	“半径”と記述する。
	└@unit	“海里”と記述する。
	└@description	警戒域を表す半径を“270海里”のように文章として記述する。
└jmx_eb:Coordinate		警戒域(強風域)がない場合(本要素を含む Item 要素下の Kind/Name 要素値が“海上風警報”的場合)、熱帯低気圧などのじょう乱の中心位置を“+12.5+116.6/”のように記述する。
	└@type	“実況位置(度)”と記述する。
	└@description	“北緯12.5度東経116.6度”のように文章として記述する。
└jmx_eb:Polygon		警戒域が緯度経度領域である場合(本要素を含む Area 要素下の Name 要素値が“緯度経度領域”的場合)、“+30+128/+33+134/+35+141/+37+150/+35+160/+29+152/+29+140/+27+131/+30+128/”のように各点の緯度経度座標を記述する。始点と終点は一致する。
	└@type	“位置(度)”と記述する。
	└@description	“北緯30度東経128度、北緯33度東経134度、北緯35度東経141度、北緯37度東経150度、北緯35度東経160度、北緯29度東経152度、北緯29度東経140度、北緯27度東経131度、北緯30度東経128度”のように文章として記述する。

Body の詳細

Body 要素は、`MeteorologicalInfos@type="全般海上警報"`となる要素または`MeteorologicalInfos@type="概況"`となる要素のそれぞれ任意回数の繰り返しと、`MeteorologicalInfos@type="全般海上予報"`となる要素(最大1回、機器障害の場合は省略する)により構成される。

`MeteorologicalInfos@type="全般海上警報"`となる要素は、`Headline` 要素以下の個々の海上警報にそれぞれ対応し、じょう乱の詳細情報や位置、中心気圧、最大風速等の予報などを記述する。

`MeteorologicalInfos@type="概況"`となる要素は、解析時刻に対する気象概況を示し、高気圧、低気圧、前線を記述する。

`MeteorologicalInfos@type="全般海上予報"`となる要素は、`Area/Code` で示す海域内の最大風速、波の最大値等の予報を記述する。

タグ	解説
Body	
└Notice	お知らせを記述する。機器障害により電文の一部を省略する場合には、“機器障害のため主な警報に限って簡易な内容で送信しています。”と記述する。それ以外の場合は、内容は“警報は6時間毎に更新します。”のように警報の更新時間間隔を示す。
└MeteorologicalInfos	
└@type	“全般海上警報”、“概況” または“全般海上予報”的いずれかを記述する。ただし、 <code>Headline/Information/Item/Kind/Name</code> の要素値が“海上警報なし”的場合は、“全般海上警報”は記述しないで“概況” と“全般海上予報”を記述する。
└MeteorologicalInfo	この要素以下で、警報事項または概況、全般海上予報を記述する。
└DateTime	警報の根拠となる気象現象や概況の観測時刻(解析時刻)、予報の起点時刻を、“2008-08-29T00:12:00+09:00”のように日本標準時で記述する。時値まで有効である。
└Duration	<code>MeteorologicalInfos@type</code> 属性値が“全般海上予報”的場合、予報期間の長さを日数及び時間数で示す。PT24H の場合、24 時間の予報であることを意味する。“全般海上予報”以外の場合は本要素を省略する。
└Item	

└Kind	
└Name	本要素が Item 要素下で最初の Kind 要素下である場合で、かつ本要素を含む MeteorologicalInfos@type 属性値が“全般海上警報”的場合、“海上濃霧警報”のような海上警報名を記述する。それ以外の場合は本要素を省略する。(†要素値等のとりうる運用を表にまとめる。以下同じ。)
└Code	“22”(海上暴風警報のコード番号)のように海上警報名に対応する海上警報コード番号を記述する。それ以外の場合は本要素を省略する。
└Status	台風又は熱帯低気圧の48時間以上先の予報がある場合、“その後の見通し”と記述する。
└ClassName	本要素が Item 要素下で最初の Kind 要素下である場合で、かつ本要素を含む MeteorologicalInfos@type 属性値が“全般海上警報”的場合、“熱帯じょう乱”、“じょう乱”、“緯度経度領域”または“領域”的いずれかの分類名を記述する。特に“熱帯じょう乱”である場合、本要素を含む Item 要素下の記述は「熱帯じょう乱」に対する記述であることを示している。また、同様に MeteorologicalInfos@type 属性値が“概況”的場合、“前線”または“気圧系”的いずれかの分類名を記述する。(†) なお、MeteorologicalInfos@type 属性値が“全般海上予報”的場合は、本要素を省略する。
└Condition	じょう乱が低気圧のとき、本要素を含む Kind 要素下の Property/Type 要素値が“低気圧”となっている本要素値において発達傾向を“発達した”または“発達中”と記述し、今後発生が予想される低気圧のとき、“発生予想”と記述する。また、じょう乱が台風又は熱帯低気圧のとき、温帯低気圧または熱帯低気圧に変わる予想となる場合、本要素を含む Kind 要素下の Property/Type 要素値が“熱帯低気圧”となっている本要素値において“温帯低気圧に変わる見込み”または“熱帯低気圧に変わる見込み”と記述する。それ以外の場合は本要素を省略する。
└DateTime	本要素が Item 要素下で2番目以降の Kind 要素下である場合、実況または予報の時刻を、“2008-08-29T00:12:00+09:00”的ように日本標準時で記述する。それ以外の場合は本要素を省略

		する。時値まで有効である。
	\sqsubset @type	“実況”、“予報 12時間後”のように警報または概況における対象時刻の分類を記述する。辞書の「とりうる値」を参照。
	\sqsubset Property	本要素下の Type 要素値の意味に対応して、複数回繰り返される。
	\sqsubset Type	この Property 要素で表現するじょう乱や前線、現象等の種類を記述する。“呼称”、“風”、“波”、“濃霧”、“着氷”、“熱帯低気圧”、“低気圧”、“低圧部”、“高気圧”、“閉塞前線”、“温暖前線”、“寒冷前線”、“停滞前線”、“別の低気圧”のいずれかをとりうる。(†)
	\sqsubset WindPart	本要素を含む Property 要素下の Type 要素値が“風”的場合に出現し、風に関する警報または予報の内容を記述する。本要素下に Becoming 要素を含む場合、本要素を含む Property 要素内の各情報の対象時刻は、同 Becoming 要素が対象としている予想時間に一致する。WindPart の詳細を参照。(†)
	\sqsubset WarningAreaPart	本要素を含む Item 要素下の最初の Kind 要素下の ClassName 要素値が“熱帯じょう乱”または“じょう乱”的場合で、かつ本要素を含む Property 要素下の Type 要素値が“風”的場合に出現し、警戒域の諸要素を記述する。特に、台風の「暴風域」が存在する場合、前述の Kind 要素下の本要素は Type 属性値が“暴風域”と“強風域”的 2 回繰り返す場合がある。WarningAreaPart の詳細を参照。(†)
	\sqsubset WaveHeightPart	本要素を含む Property 要素下の Type 要素値が“波”的場合に出現し、波に関する予報の内容を記述する。WaveHeightPart の詳細を参照。(†)
	\sqsubset ClassPart	本要素を含む Property 要素下の Type 要素値が“熱帯低気圧”的場合に出現し、熱帯じょう乱の階級を示す。(†)
	\sqsubset jmx_eb:TyphoonClass	熱帯じょう乱の階級として、“台風”または“熱帯低気圧”と記述する。
	\sqsubset @type	“熱帯低気圧階級”と記述する。
	\sqsubset TyphoonNamePart	本要素を含む Kind 要素下の ClassName 要素値が“熱帯じょう乱”的場合で、かつ本要素を含む

		Property 要素下の Type 要素値が“呼称”的場合に出現し、台風呼名に関する諸要素を記述する。(†)
	┴Name	台風の呼名を“TEMBIN”的ように英字で記述する。
	┴NameKana	台風の呼名を“テンбин”的ようにカナで記述する。
	┴Number	“0914”的ように台風番号を記述する。
	┴CenterPart	本要素を含む Property 要素下の Type 要素値が“熱帯低気圧”、“低気圧”、“高気圧”または“低圧部”的場合に出現し、低気圧などのじょう乱の、実況位置や予報円の中心の諸要素を記述する。CenterPart の詳細を参照。(†)
	┴CoordinatePart	緯度経度座標で示す要素を記述する。(†)
	┴jmx_eb:Line	“+42+180/+39-179/+35+179/+30+177/+27+174/+24+170/”のように前線位置を緯度経度座標で記述する。
	┴@type	“位置(度)”と記述する。
	┴@description	“北緯42度東経180度、北緯39度西経179度、北緯35度東経179度、北緯30度東経177度、北緯27度東経174度、北緯24度東経170度”のように文章として記述する。
	┴Text	“所々濃い霧のため見通しが悪くなっている”、“弱い着氷となるおそれがある”のように警報事項を記述する。また、台風からかわった熱帯低気圧について示す場合は、“台風1508(クジラ)からかわった熱低”的ように記述する。
┴Area		警報の影響範囲やじょう乱等の位置を記述する。MeteorologicalInfos@type 属性値が“全般海上予報”的場合、予報の対象域を記述する。Area の詳細を参照。(†)

Area の詳細

タグ	解説
Area	地域についての諸要素を記述する。
└Name	“熱帯低気圧”、“低気圧”、“緯度経度領域”のいずれかの警戒域の要因や分類、または“日本海西部”のように警戒域の海域名を記述する。なお、記述が海域名かどうかは、本要素を含む Item 要素下の最初の Kind 要素の ClassName 要素値が“領域”となっているか、または次要素の Code 要素が存在するかのいずれかで判別する。(†)
└Code	警戒域が海域名である場合、“9030”のように全般海上海域名コード番号を記述する。警戒域が海域名ではない場合は、要素を省略する。MeteorologicalInfos@type 属性値が“全般海上予報”的場合、“9030”のように全般海上海域名コード番号を記述する。(†)
└jmx_eb:Circle	警戒域を円で示すときの諸要素を記述する。本要素下の jmx_eb:BasePoint@type 属性値の意味に対応して、複数回繰り返される場合がある。(†)
└@type	“影響範囲”と記述する。
└jmx_eb:BasePoint	低気圧などのじょう乱 または予報円の中心位置を“+44+163/”のように記述する。警報低気圧の場合、原則として type 属性値を“12時間後位置(度)”と“24時間後位置(度)”として繰り返すが、“12時間後位置(度)”は省略されて繰り返さない場合がある。なお、警報低気圧であって、24時間後の予報円のない場合は値は記述しない(空タグとする)。
└@type	じょう乱または予報円の時間種別を“実況位置(度)”、“12時間後位置(度)”、“24時間後位置(度)”のいずれかを記述する。
└@description	じょう乱または予報円の中心位置を“北緯23. 6度東経139. 1度”のように記述する。ただし、警報低気圧であって、24時間後の予報円のない場合は本属性を省略する。
└jmx_eb:Axes	警戒域をじょう乱や予報円の中心位置からの距離で示す場合に、中心位置からの半径(大きさ、方向)で記述する要素。本要素にて強風域を示す。本要素を含む Area 要素下の Name 要素値が“低気圧”的場合で本要素

	を含む jmx_eb:Circle 要素下の jmx_eb:BasePoint@type に“24時間後位置(度)”が存在する場合は、じょう乱を中心とした24時間以内の最大の警戒域の大きさを示し、それ以外は本要素を含むjmx_eb:Circle 要素下の最初の jmx_eb:BasePoint 要素に対する警戒域の大きさを示す。全方位等距離で示す場合と、片側に広く、他方に狭く示す場合がある。
jmx_eb:Axis	警戒域をじょう乱や予報円の中心位置から等距離で記述する場合は、1つ記述する。2方向の距離で記述する場合は、長半径と短半径の2つを記述する。
jmx_eb:Direction	2方向の距離で記述する場合、本要素を含む jmx_eb:Axis 要素下で示す軸方向を“北西”的ように記述する。警戒域が全方位等距離の場合、値は記述しない(空タグとする)。
@type	“方向”と記述する。
@unit	“8方位漢字”と記述する。
@condition	警戒域が円で、全方位等距離の場合、“全域”と記述する。それ以外の場合は本属性を省略する。
@description	警戒域が円で、全方位等距離の場合、“全域”と文章として記述する。それ以外の場合は本属性を省略する。
jmx_eb:Radius	警戒域の半径を海里単位で、“270”的ように記述する。
@type	“半径”と記述する。
@unit	“海里”と記述する。
@description	警戒域を表す半径を“270海里”的ように文章として記述する。
jmx_eb:Coordinate	熱帯低気圧や低気圧などのじょう乱の中心位置を、“+59+157/”のように記述する。(†)
@type	“中心位置(度)”と記述する。
@description	“北緯20. 6度東経140. 5度”的ように文章として記述する。
@condition	低圧部の場合、“付近”と記述する。それ以外の場合は本属性を省略する。
jmx_eb:Line	前線の位置を、“/+30+160/+33+166/+39+171/+42+176/+44+180/+44-178”的ように記述する。(†)
@type	“位置(度)”と記述する。

└ @description	“北緯30度東経160度、北緯33度東経166度、北緯39度東経171度、北緯42度東経176度、北緯44度東経180度、北緯44度西経178度”のように文章として記述する。
└ jmx_eb:Polygon	緯度経度領域を、 “/+32+140/+41+142/+47+152/+57+163/+60+165/+60+180/+34+180/+34+168/+41+166/+40+157/+32+150/+32+140/”のように各点の緯度経度座標を記述する。始点と終点は一致する。(†)
└ @type	“位置(度)”と記述する。
└ @description	“北緯32度東経140度、北緯41度東経142度、北緯47度東経152度、北緯57度東経163度、北緯60度東経165度、北緯60度東経180度、北緯34度東経180度、北緯34度東経168度、北緯41度東経166度、北緯40度東経157度、北緯32度東経150度、北緯32度東経140度”のように文章として記述する。

WindPart の詳細

タグ	解説
WindPart	風に関する諸要素を記述する。
└ Becoming	風に関する警報事項のうち予想部分の諸要素を記述する。本要素を含む Item 要素下で、最初の Kind 要素下の ClassName 要素値が“じょう乱”、“領域” または“緯度経度領域”の場合の風に関する予想で利用する。この場合、本要素及び本要素が属する Property 要素内の各情報の対象時刻は、本要素下の TimeModifier 要素が対象としている予想時間に一致する。また、同 ClassName 要素値が“熱帯じょう乱”となる場合の風に関する予想では利用せず、DateTime@type 属性値が“予報 ○○時間後”となる Kind 要素下の WindPart 要素(Becoming 要素は用いない)で記述する。
└ TimeModifier	予想時間に応じて、“今後6時間以内に”、“今後12時間以内に”、“今後18時間以内に”、“今後24時間以内に”、“今後6時間以内は”、“今後12時間以内は”、“今後18時間以内は”、“今後24時間以内は”のいずれかの値をとる。

- jmx_eb:WindDirection	警戒域が緯度経度領域の場合に、風向を“北”的ように8方位で記述する。 「北または北西」のように複数の風向を記述する場合、複数の jmx_eb:WindDirection を記述する。
- @type	“風向”と記述する。
- @unit	“8方位漢字”と記述する。
- jmx_eb:WindSpeed	風速をノット単位で“45”的ように記述する。
- @type	風の警戒域で警戒すべき領域の基準となる風速(30ノット以上)を示すときは“風速”と記述する。風の警戒域で吹く最大風速を示すときは“最大風速”と記述する。
- @unit	“ノット”と記述する。
- @description	“30ノット以上”、“最大風速34ノット以上”、“最大風速60ノット”的ように文章として記述する。
- @condition	予想最大風速の発生場所を“中心付近”的ように記述する。最大風速が34ノット以上であることを示す場合は“以上”と記述する。風の警戒域で警戒すべき領域の基準となる風速(30ノット以上、若しくは50ノット以上)を記述する場合は“以上”と記述する。
- jmx_eb:WindDirection	警戒域が緯度経度領域の場合に、風向を“北”的ように8方位で記述する。 「北または北西」のように複数の風向を記述する場合、複数の jmx_eb:WindDirection を記述する。
- @type	“風向”と記述する。
- @unit	“8方位漢字”と記述する。
- jmx_eb:WindSpeed	風速をノット単位で“45”的ように記述する。ただし、本要素を含む Kind 要素下の Condition 要素値が“熱帯低気圧に変わる見込み”または“温帯低気圧に変わる見込み”的場合で、本要素値を“0”と記述している場合は、海上暴風警報又は海上強風警報となる低気圧ではないことを意味し、本要素値及び属性値はそれ以外の意味を持たない。なお、本要素値を“0”と記述するのは、本要素を含む Item 要素下の最初の Kind 要素下の ClassName 要素値が“熱帯じょう乱”的場合で、かつ本要素を含む Kind 要素下の DateTime 要素の type 属性値が“予報 ○○時間後”(実際のとりうる値等は当該項目を参照)の場合のみである。
@type	風の警戒域で警戒すべき領域の基準となる風速(30ノットまたは50ノット以上)を示すときは“風速”と記述

	する。風の警戒域で吹く最大風速を示すときは“最大風速”と記述する。
@unit	“ノット”と記述する。
@description	“30ノット以上”、“最大風速60ノット”のように文章として記述する。
@condition	実況最大風速の発生場所を“中心付近”的ように記述する。風の警戒域で警戒すべき領域の基準となる風速(30ノット以上、若しくは50ノット以上)を記述する場合は“以上”と記述する。
Sentence	MeteorologicalInfos@type=“全般海上予報”的場合、“北東 25ノット(13メートル)”のように全般海上予報の平文を記述する。
Base	MeteorologicalInfos@type=“全般海上予報”的場合、風の予報を記述する。
jmx_eb:WindDirection	風向を“南西”的ように記述する。
@type	“風向”と記述する。
@unit	“8方位漢字”と記述する。
jmx_eb:WindSpeed	“25”的ように風速を記述する。
@type	“風速”と記述する。
@unit	“ノット”、“m/s”的ように単位を記述する。
@description	“25メートル”的ように記述する。

WarningAreaPart の詳細

タグ	解説

WarningAreaPart	暴風域または強風域の諸元を記述する。
└@type	“暴風域”または“強風域”と記述する。なお、本要素を含む Kind 要素下の ClassPart 要素により熱帯じょう乱の階級が“台風”であり、暴風域を持つ(実況の最大風速が50ノット以上)場合、台風における暴風域を示すものとして“暴風域”を用いる。
└jmx_eb:WindSpeed	“暴風域”または“強風域”の基準となる風速を示す。
└@type	“風速”と記述する。
└@unit	“ノット”と記述する。
└@condition	“以上”と記述する。
└@description	“30ノット以上”(強風域)、“50ノット以上”(暴風域)と文章として記述する。
└jmx_eb:Circle	警戒域を円で示すときの諸要素を記述する。
└jmx_eb:Axes	警戒域をじょう乱や予報円の中心位置からの距離で示す場合に、中心位置からの半径(大きさ、方向)を記述する要素。全方位等距離で示す場合と、片側に広く、他方に狭く示す場合がある。
└jmx_eb:Axis	警戒域をじょう乱や予報円の中心位置から等距離で記述する場合は、「jmx_eb:Axis」を1つ記述する。2方向の距離で記述する場合は、長半径と短半径の「jmx_eb:Axis」を2つ記述する。
└jmx_eb:Direction	2方向の距離で記述する場合、本要素を含む Axis 要素下で示す軸方向を“北西”的ように記述する。警戒域が全方位等距離の場合、値は記述しない(空タグとする)。
└@type	“方向”と記述する。
└@unit	“8方位漢字”と記述する。
└@condition	警戒域が円で、全方位等距離の場合、“全域”と記述する。それ以外の場合は本属性を省略する。
└@description	警戒域が円で、全方位等距離の場合、“全域”と文章として記述する。それ以外の場合は本属性を省略する。
└jmx_eb:Radius	警戒域の半径を海里単位で、“270”的ように記述する。
└@type	“半径”と記述する。
└@unit	“海里”と記述する。

└@description	警戒域を表す半径を“270海里”のように文章として記述する。
---------------	--------------------------------

CenterPart の詳細（実況位置の場合）

タグ	解説
CenterPart	本要素を含む Kind 要素下で、DateTime 要素が無いか DateTime@type 属性値が“予報 ○○時間後”(○○には予報対象時間が入る。辞書の「とりうる値」を参照。以下同じ。)では無い場合に、低気圧などのじょう乱や高気圧等の中心の諸要素を記述する。
└jmx_eb: Coordinate	じょう乱の中心位置を“+35+138/”、“+20.0+132.8/”のように1度または0. 1度単位で記述する。
└@type	“中心位置(度)”と記述する。
└@condition	本要素を含む Item 要素下の最初の Kind 要素下の ClassName 要素値が“熱帯じょう乱”的場合、中心位置の精度を“正確”、“ほぼ正確”、“不確実”的いずれかで記述する。中心位置の精度を記述しない場合は省略する。
└@description	“北緯35度東経138度”、“北緯20. 0度東経132. 8度”のように文章として記述する。
└Location	じょう乱の中心位置の海域名称を“日本の南”のように記述する。省略することもある。
└jmx_eb: Direction	じょう乱の中心の移動方向を“東”のように記述する。移動方向が決定できないときは condition 属性値を“不定”とし、値は記述しない(「空タグ」とする)。
└@type	“移動方向”と記述する。
└@unit	“16方位漢字”と記述する。
└@condition	じょう乱の中心の移動方向の状況を“転向する見込み”的ように補足する。移動方向が決定できないときは“不定”と記述する。補足しない場合は本属性を省略する。
└@description	移動方向を“東”や“不定”のように文章として記述する。
└jmx_eb: Speed	じょう乱の中心の移動速度をノット単位で“11”のように記述する。移動速度がゆっくりまたはほとんど停滞のと

	きは condition 属性値にその内容を記述するものとし、値は記述しない（「空タグ」とする）。
-@type	“移動速度”と記述する。
-@unit	“ノット”と記述する。
-@condition	じょう乱の中心の移動速度の状況を“やや減速”的に補足する。移動速度がゆっくりのとき“ゆっくり”と、ほとんど停滞のとき“ほとんど停滞”と記述する。補足しない場合は本属性を省略する。
@description	“20ノット”的に記述する。移動速度がゆっくりのとき“ゆっくり”と記述する。ほとんど停滞のとき“ほとんど停滞”と文章として記述する。
jmx_eb: Pressure	じょう乱の中心気圧をヘクトパスカル単位で “994”のように記述する。
-@type	“中心気圧”と記述する。
-@unit	“hPa”と記述する。
@description	“中心気圧994ヘクトパスカル”的に文章として記述する。

CenterPart の詳細（予報円の中心の場合）

タグ	解説
CenterPart	本要素を含む Kind 要素下の DateTime@type 属性値が“予報 ○○時間後”的に、低気圧などのじょう乱の予報円の中心の諸要素を記述する。
ProbabilityCircle	予報円の記述であることを示す。
-@type	“予報円”と記述する。
jmx_eb:BasePoint	じょう乱の予報円の中心位置を“+47+152/”、“+21.5+132.8/”のように1度または0. 1度単位で記述する。
-@type	“中心位置(度)”と記述する。
@description	“北緯47度東経152度”、“北緯21. 5度東経132. 8度”のように文章として記述する。
jmx_eb:Axes	じょう乱の予報円を中心位置からの半径(大きさ、方向)に関する要素を記述する。

└ jmx_eb:Axis	じょう乱の予報円の半径の大きさに関する要素を記述する。
└ jmx_eb:Direction	値は記述しない(「空タグ」とする)。
└ @type	“方向”と記述する。
└ @unit	“8方位漢字”と記述する。
└ @condition	“全域”と記述する。
└ @description	“全域”と文章として記述する。
└ jmx_eb:Radius	予報円の半径を海里単位で“120”のように記述する。
└ @type	記述する予報円の種別に応じて“予報円半径”または“70パーセント確率半径”と記述する。
└ @unit	“海里”と記述する。
└ @description	“予報円半径100海里”、“中心が70パーセントの確率で入る予報円半径120海里”のように記述する。
└ jmx_eb: Direction	発生が予想される低気圧(本要素を含む Kind 要素下の condition 要素値が“発生予想”となっていて、本要素を含む Property 要素下の Type 要素値が“低気圧”となっているもの。以下同じ。)の場合、中心の移動方向を“東”のように文章として記述する。移動方向が決定できないときは condition 属性値を“不定”とし、値は記述しない(「空タグ」とする)。それ以外の場合(発生が予想される低気圧でない場合)は本要素を省略する。
└ @type	“移動方向”と記述する。
└ @unit	“16方位漢字”と記述する。
└ @condition	発生が予想される低気圧の中心の移動方向の状況を“転向する見込み”的に補足する。移動方向が決定できないとき“不定”と記述する。補足しない場合は本属性を省略する。
└ @description	移動方向を“東”や“不定”的に文章として記述する。
└ jmx_eb: Speed	発生が予想される低気圧の場合、移動速度をノット単位で“11”的に記述する。移動速度がゆっくりまたはほとんど停滞のときは condition 属性値にその内容を記述するものとし、値は記述しない(「空タグ」とする)。
└ @type	“移動速度”と記述する。
└ @unit	“ノット”と記述する。

└@condition	発生が予想される低気圧の中心の移動速度の状況を“やや減速”的に補足する。移動速度がゆっくりのとき“ゆっくり”と、ほとんど停滞のとき“ほとんど停滞”と記述する。補足しない場合は本属性を省略する。
└@description	“20ノット”、“ゆっくり”、“ほとんど停滞”的に記述する。

WaveHeightPart の詳細

タグ	解説
WaveHeightPart	波に関する諸要素を記述する。
└Sentence	Meteorological Infos@type=“全般海上予報”的場合、“2メートル”、“5メートル 高いうねりを伴う”的に全般海上予報の平文を記述する。
└Base	Meteorological Infos@type=“全般海上予報”的場合、波の予報を記述する。
└jmx_eb:WaveHeight	“5”的ように記述する。海水で覆われ予報ができない場合は値を記述しない(「空タグ」とする)。
└@type	“波高”と記述する。
└@unit	単位を“m”と記述する。
└@description	“5メートル”的ように記述する。海水で覆われ予報ができない場合は”海水のため予報なし”と記述する。
└@condition	波の状況を“やや高いうねりを伴う”、“高いうねりを伴う”的に補足する。海水で覆われ予報ができない場合は”予報なし”と記述する。補足しない場合は本属性を省略する。

†要素値等のとりうる運用表

- └ Item要素下で記載形式のKind要素をとる目数。
- └ MeteorologicalInfo要素下で記載形式のItem要素をとる目数。

└ Kind要素下で記載形式のProperty要素をとる目数。

└ Area要素下で記載位置要素をとる目次

MeteorologicalInfos@type="概況"								備考
Item				Area				
Kind	Name	ClassName	DateTime	Property	Type	名前	コード	位置要素
					とりうる〇〇Part要素			とりうる要素
(高気圧)	1 1(省略)	気圧系	(省略)	1 高気圧	CenterPart	高気圧	(省略)	1 Coordinate
(低気圧)	1 1(省略)	気圧系	(省略)	1 低気圧	CenterPart	低気圧	(省略)	1 Coordinate
(熱帯低気圧)	1 1(省略)	気圧系	(省略)	1 热帯低気圧	ClassPart_CenterPart	熱帯低気圧	(省略)	1 Coordinate
(低圧部)	1 1(省略)	気圧系	(省略)	1 低圧部	CenterPart	低圧部	(省略)	1 Coordinate
(温暖前線)	1 1(省略)	前線	(省略)	1 温暖前線		前線	(省略)	1 Line
(寒冷前線)	1 1(省略)	前線	(省略)	1 寒冷前線		前線	(省略)	1 Line
(停滞前線)	1 1(省略)	前線	(省略)	1 停滞前線		前線	(省略)	1 Line
(閉塞前線)	1 1(省略)	前線	(省略)	1 閉塞前線		前線	(省略)	1 Line

└ Item要素下で記載形式のKind要素をとる回数。

└ Kind要素下で記載形式のProperty要素をとる回数。

└ Area要素下で記載位置要素をとる回数。

└ MeteorologicalInfo要素下で記載形式のItem要素をとる回数。

MeteorologicalInfos@type="全般海上予報"								備考
Item				Area				
Kind	Name	ClassName	DateTime	Property	Type	名前	コード	位置要素
					とりうる〇〇Part要素			とりうる要素
(風, 波)	1 2(省略)	(省略)	(省略)	1 風	WindPart			
				1 波	WaveHeightPart	(全般海上海域名)	(コード)	0(省略)

└ Item要素下で記載形式のKind要素をとる回数。

└ Kind要素下で記載形式のProperty要素をとる回数。

└ Area要素下で記載位置要素をとる回数。

└ MeteorologicalInfo要素下で記載形式のItem要素をとる回数。

全般海上警報 XML (R08) の記述例

例 1 台風による風に関する警報の例

1-1 警報種類と台風の諸元に関する記述例

例	解説
<pre><MeteorologicalInfos type="全般海上警報"> <MeteorologicalInfo> <DateTime>2016-10-15T18:00:00+09:00</DateTime> <Item> <Kind> <Name>海上台風警報</Name> <Code>23</Code> <ClassName>熱帯じょう乱</ClassName> <Property> <Type>呼称</Type> <TyphoonNamePart> <Name>KOMPASU</Name> <NameKana>コンパス</NameKana> <Number>1611</Number> </TyphoonNamePart> </Property> </Kind></pre>	警報名を記述。 警報のコード番号を記述。 台風の場合、“熱帯じょう乱”と記述。 台風の呼名の諸元を記述。 台風の呼名の英字表記。 台風の呼名のカナ表記。 台風番号。

1-2 台風の実況の記述例

例	解説
(1-1 から続き)	

<pre> <Kind> <DateTime type="実況">2016-10-15T18:00:00+09:00</DateTime> <Property> <Type>熱帯低気圧</Type> <ClassPart> <jmx_eb:TyphoonClass type="熱帯低気圧階級">台風</jmx_eb:TyphoonClass> </ClassPart> <CenterPart> <jmx_eb:Coordinate type="中心位置（度）" condition="正確" description="北緯23.5度 東経133.6度">+23.5+133.6</jmx_eb:Coordinate> <Location>日本の南</Location> <jmx_eb:Direction type="移動方向" unit="16方位漢字">北</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Speed type="移動速度" unit="ノット" condition="加速" description="12ノット加速">12</jmx_eb:Speed> <jmx_eb:Pressure type="中心気圧" unit="hPa" description="中心気圧965ヘクトパスカル">965</jmx_eb:Pressure> </CenterPart> </Property> <Property> <Type>風</Type> <WindPart> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" condition="中心付近" description="中心付近の最大風速70ノット">70</jmx_eb:WindSpeed> </WindPart> <WarningAreaPart type="暴風域"> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" condition="以上" description="50ノット以上">50</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:Circle> <jmx_eb:Axes> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字" condition="全域" description="全域"/> <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="50海里">50</jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> </jmx_eb:Axes> </jmx_eb:Circle> </WarningAreaPart> </Property> </pre>	<p>“実況”であることを示すとともに実況の諸元の解析時刻を記述。</p> <p>“熱帯低気圧”と記述。</p> <p>熱帯じょう乱の階級“台風”を記述。</p> <p>中心位置の緯度経度、精度を記述。</p> <p>中心位置の存在する海域を記述。</p> <p>中心の移動方向を記述。</p> <p>中心の移動速度を記述。</p> <p>必要時、@conditionに付加記事を記述。</p> <p>中心気圧を記述。</p> <p>風の諸元を記述。</p> <p>最大風速を記述。</p> <p>暴風域が存在時、諸元を記述。</p> <p>暴風域の定義を記述。</p> <p>暴風域の範囲を記述。この例は、暴風域が正円の場合。 @conditionに“全域”と記述。</p> <p>暴風域（正円）の半径を記述。</p>
--	--

<pre> </jmx_eb:Circle> </WarningAreaPart> <WarningAreaPart type="強風域"> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" condition="以上" description="30ノット以上">30</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:Circle> <jmx_eb:Axes> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字">南東</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="130海里">130</jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字">北西</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="90海里">90</jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> </jmx_eb:Axes> </jmx_eb:Circle> </WarningAreaPart> </Property> </Kind> </pre>	<p>警戒域（強風域）の諸元を記述。 警戒域（強風域）の定義を記述。</p> <p>警戒域（強風域）の範囲を記述。この例は2方向の距離で記述する場合。長半径または短半径の方向と長さを記述。</p> <p>短半径または長半径の方向と長さを記述。</p>
--	---

1-3 台風の予想の記述例

例	解説
<p>(1-2から続き)</p> <pre> <Kind> <DateTime type="予報 24時間後">2016-10-16T18:00:00+09:00</DateTime> <Property> <Type>熱帯低気圧</Type> <CenterPart> </pre>	<p>“予報 24時間後”であることを示すとともに予報の諸元の時刻を記述。 “熱帯低気圧”と記述。</p>

<pre> <ProbabilityCircle type="予報円"> <jmx_eb:BasePoint type="中心位置（度）" description="北緯29.5度東経137.4度">+29.5+137.4</jmx_eb:BasePoint> <jmx_eb:Axes> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字" condition="全域" description="全域"/> <jmx_eb:Radius type="70パーセント確率半径" unit="海里" description="中心が70パーセントの確率で入る予報円半径85海里">85</jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> </jmx_eb:Axes> </ProbabilityCircle> <jmx_eb:Pressure type="中心気圧" unit="hPa" description="中心気圧990ヘクトパスカル">990</jmx_eb:Pressure> </CenterPart> </Property> <Property> <Type>風</Type> <WindPart> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" condition="中心付近" description="中心付近の最大風速45ノット">45</jmx_eb:WindSpeed> </WindPart> </Property> </Kind> <Kind> <Status>その後の見通し</Status> <Condition>温帯低気圧に変わる見込み</Condition> <DateTime type="予報 48時間後">2008-06-04T03:00:00+09:00</DateTime> <Property> <Type>熱帯低気圧</Type> <CenterPart> <ProbabilityCircle type="予報円"> <jmx_eb:BasePoint type="中心位置（度）" description="北緯34.2度東経145.4度">+34.2+145.4</jmx_eb:BasePoint> <jmx_eb:Axes> </pre>	<p>“予報円”と示すとともに予報円の諸元を記述。 予報円中心の緯度経度を記述。</p> <p>予報円の範囲を記述。 @condition に “全域”と記述。 予報円の半径を記述。</p> <p>中心気圧を記述。</p> <p>風の諸元を記述。</p> <p>最大風速を記述。</p> <p>48時間以降の予想がある場合は、“その後の見通し”と記述し、予想の諸元を記述。 予想の諸元で台風から熱帯低気圧または温帯低気圧に変わる予想がある場合は、“熱帯低気圧に変わる見込み”または、“温帯低気圧に変わる見込み”と記述。</p> <p>“予報円”と示すとともに予報円の諸元を記述。 予報円中心の緯度経度を記述。</p>
--	--

```

<jmx_eb:Axis>
  <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字" condition="全域" description="全
域"/>
  <jmx_eb:Radius type="70パーセント確率半径" unit="海里" description="中心が70
パーセントの確率で入る予報円半径180海里">180</jmx_eb:Radius>
</jmx_eb:Axis>
</jmx_eb:Axes>
</ProbabilityCircle>
<jmx_eb:Pressure type="中心気圧" unit="hPa" description="中心気圧998ヘクトパスカル
">998</jmx_eb:Pressure>
</CenterPart>
</Property>
<Property>
  <Type>風</Type>
  <WindPart>
    <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" description="最大風速0ノット
">0</jmx_eb:WindSpeed>
  </WindPart>
  </Property>
</Kind>

```

予報円の範囲を記述。
@condition に “全域” と記述。
予報円の半径を記述。

予想の中心気圧を記述。

台風から熱帯低気圧または温帯低気圧に変わる予想で、海上暴風警報又は海上強風警報となる低気圧ではない場合、予想の最大風速については “0” が格納される。

1-4 警戒する領域の記述例

例	解説
(1-3 から続き) <Area> <Name>熱帯低気圧</Name> <jmx_eb:Circle type="影響範囲">	“熱帯低気圧” と記述。 “影響範囲” と記述。

<pre> <jmx_eb:BasePoint type="実況位置（度）" description="北緯23.5度東経133.6度">+23.5+133.6</jmx_eb:BasePoint> <jmx_eb:BasePoint type="12時間後位置（度）" description="北緯26.4度東経135.1度">+26.4+135.1</jmx_eb:BasePoint> <jmx_eb:BasePoint type="24時間後位置（度）" description="北緯29.5度東経137.4度">+29.5+137.4</jmx_eb:BasePoint> <jmx_eb:Axes> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字">南東</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="130海里">130</jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字">北西</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="90海里">90</jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> </jmx_eb:Axes> </jmx_eb:Circle> </Area> </pre>	<p>実況の中心位置を記述。</p> <p>12時間後の予想の中心位置を記述。</p> <p>24時間後の予想の中心位置を記述。</p> <p>影響を及ぼす範囲（距離）を記述。ここでは2方向の距離で記述する場合の例。</p>
--	--

例2 海上風警報の熱帯低気圧による風に関する警報の例

2-1 警報種類（海上風警報）と熱帯低気圧の諸元に関する記述例

例	解説
<pre><MeteorologicalInfos type="全般海上警報"> <MeteorologicalInfo> <DateTime>2008-06-02T03:00:00+09:00</DateTime> <Item> <Kind> <Name>海上風警報</Name> <Code>20</Code> <ClassName>熱帯じょう乱</ClassName> <Property> <Type>呼称</Type> <TyphoonNamePart> <Name/> <NameKana/> <Number/> </TyphoonNamePart> </Property> <Property> <Type>風</Type> <WindPart> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" condition="中心付近" description="中心付近の最大風速30ノット">30</jmx_eb:WindSpeed> </WindPart> </Property> </Kind></pre>	<p>警報名を記述。 警報のコード番号を記述。 “熱帯じょう乱”と記述。</p> <p>“呼称”と記述。</p> <p>空タグとする（熱帯低気圧のため） 空タグとする（熱帯低気圧のため） 空タグとする（熱帯低気圧のため）</p> <p>“風”と記述。</p> <p>最大風速を記述。</p>

2-2 热帯低気圧の実況の記述例

例	解説
<p>(2-1 から続き)</p> <pre> <Kind> <DateTime type="実況">2008-06-02T03:00:00+09:00</DateTime> <Property> <Type>熱帯低気圧</Type> <ClassPart> <jmx_eb:TyphoonClass type="熱帯低気圧階級">熱帯低気圧</jmx_eb:TyphoonClass> </ClassPart> <CenterPart> <jmx_eb:Coordinate type="中心位置（度）" condition="不確実" description="北緯 12.5 度 東経 116.6 度">+12.5+116.6</jmx_eb:Coordinate> <Location>南シナ海</Location> <jmx_eb:Direction type="移動方向" unit="16 方位漢字">北西</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Speed type="移動速度" unit="ノット" description="7 ノット">7</jmx_eb:Speed> <jmx_eb:Pressure type="中心気圧" unit="hPa" description="中心気圧 1004 ヘクトパスカル">1004</jmx_eb:Pressure> </CenterPart> </Property> </Kind> </pre>	<p>“実況”であることを示すとともに実況の諸元の解析時刻を記述。</p> <p>“熱帯低気圧”と記述。</p> <p>熱帯じょう乱の階級“熱帯低気圧”を記述。</p> <p>中心位置の緯度経度、精度を記述。</p> <p>中心位置の存在する海域を記述。</p> <p>中心の移動方向を記述。</p> <p>中心の移動速度を記述。</p> <p>中心気圧を記述。</p>

2-3 警戒する領域の記述例

例	解説
<p>(2-2 から続き)</p> <pre> <Area> </pre>	

<Name>熱帯低気圧</Name>

<jmx_eb:Coordinate type="実況位置（度）" description="北緯 12.5 度 東経 116.6 度">+12.5+116.6/</jmx_eb:Coordinate>

</Area>

“熱帯低気圧”と記述。

実況の中心位置を記述。

例3 海上暴風警報の低気圧による警報の例

3-1 警報種類と風の諸元に関する記述例

例	解説
<pre> <MeteorologicalInfos type="全般海上警報"> <MeteorologicalInfo> <DateTime>2008-02-26T21:00:00+09:00</DateTime> <Item> <Kind> <Name>海上暴風警報</Name> <Code>22</Code> <ClassName>じょう乱</ClassName> <Property> <Type>風</Type> <WindPart> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" description="最大風速 35 ノット">35</jmx_eb:WindSpeed> </WindPart> <WarningAreaPart type="強風域"> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" condition="以上" description="30 ノット以上">30</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:Circle> <jmx_eb:Axes> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8 方位漢字">南西</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="600 海里">600</jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8 方位漢字">北東</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="300 海里">300</jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> </jmx_eb:Axes> </jmx_eb:Circle> </WarningAreaPart> </Property> </Item> </pre>	<p>警報名を記述。</p> <p>警報のコード番号を記述。</p> <p>“じょう乱”と記述。</p> <p>風の諸元を記述。</p> <p>実況の最大風速を記述。</p> <p>警戒域（強風域）の諸元を記述。</p> <p>警戒域（強風域）の定義を記述。</p> <p>警戒域（強風域）の範囲を記述。この例は2方向の距離で記述する場合。長半径または短半径の方向と長さを記述。</p> <p>短半径または長半径の方向と長さを記述。</p>

<pre> </jmx_eb:Axis> </jmx_eb:Axes> </jmx_eb:Circle> </WarningAreaPart> </Property> <Property> <Type>風</Type> <WindPart> <Becoming> <TimeModifier>今後24時間以内に</TimeModifier> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" description="最大風速60ノット ">60</jmx_eb:WindSpeed> </Becoming> </WindPart> <WarningAreaPart type="強風域"> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" condition="以上" description="30ノット以上">30</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:Circle> <jmx_eb:Axes> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字">南</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="1100 海里 ">1100</jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字">北</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="600 海里 ">600</jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> </jmx_eb:Axes> </jmx_eb:Circle> </WarningAreaPart> </Property> </pre>	<p>風の諸元を記述。</p> <p>予想時間を記述。</p> <p>予想される最大風速を記述。</p> <p>警戒域（強風域）の諸元を記述。</p> <p>警戒域（強風域）の定義を記述。</p> <p>警戒域（強風域）の範囲を記述。この例は2方向の距離で記述する場合。長半径または短半径の方向と長さを記述。</p> <p>短半径または長半径の方向と長さを記述。</p>
--	---

</Kind>	
---------	--

3-2 低気圧の諸元（実況）の記述例

例	解説
<p>(3-1 から続き)</p> <pre> <Kind> <Condition>発達中</Condition> <DateTime type="実況">2008-02-26T21:00:00+09:00</DateTime> <Property> <Type>低気圧</Type> <CenterPart> <jmx_eb:Coordinate type="中心位置（度）" description="北緯35度東経138度">+35+138</jmx_eb:Coordinate> <Location>日本の南</Location> <jmx_eb:Direction type="移動方向" unit="16方位漢字">東</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Speed type="移動速度" unit="ノット" description="30ノット">30</jmx_eb:Speed> <jmx_eb:Pressure type="中心気圧" unit="hPa" description="中心気圧1000ヘクトパスカル">1000</jmx_eb:Pressure> </CenterPart> </Property> <Property> <Type>温暖前線</Type> <CoordinatePart> <jmx_eb:Line type="位置（度）" description="北緯35度東経138度、北緯35度東経141度、北緯35度東経143度">+35+138/+35+141/+35+143</jmx_eb:Line> </CoordinatePart> </Property> <Property> <Type>寒冷前線</Type> <CoordinatePart> </pre>	<p>発達傾向を“発達した”または“発達中”と記述する。 “実況”であることを示すとともに実況の諸元の解析時刻を記述。 “低気圧”と記述。</p> <p>中心位置の緯度経度を記述。</p> <p>中心位置の存在する海域を記述。 中心の移動方向を記述。 中心の移動速度を記述。 中心気圧を記述。</p> <p>必要時、前線の諸元を記述。 温暖前線の場合。</p> <p>前線の位置を線で記述。</p> <p>寒冷前線の場合。</p>

```

<jmx_eb:Line type="位置（度）" description="北緯35度東経138度、北緯33度東経137度、北緯32度東経134度、北緯30度東経133度、北緯28度東経131度">+35+138/+33+137/+32+134/+30+133/+28+131/</jmx_eb:Line>
</CoordinatePart>
</Property>
</Kind>

```

3-3 低気圧の諸元（予想）の記述例

例	解説
<p>(3-2 から続き)</p> <pre> <Kind> <DateTime type="予報 12時間後">2008-02-27T09:00:00+09:00</DateTime> <Property> <Type>低気圧</Type> <CenterPart> <ProbabilityCircle type="予報円"> <jmx_eb:BasePoint type="中心位置（度）" description="北緯38度東経145度">+38+145/</jmx_eb:BasePoint> <jmx_eb:Axes> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字" condition="全域" description="全域"/> <jmx_eb:Radius type="予報円半径" unit="海里" description="予報円半径60海里">60/</jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> </jmx_eb:Axes> </ProbabilityCircle> </CenterPart> </Property> </pre>	<p>“予報 12時間後”であることを示すとともに予報の諸元の時刻を記述。</p> <p>“低気圧”と記述。</p> <p>“予報円”と示すとともに予報円の諸元を記述。 予報円中心の緯度経度を記述。</p> <p>予報円の範囲を記述。 @condition に “全域”と記述。 予報円の半径を記述。</p>

<pre> </Kind> <Kind> <DateTime type="予報 24時間後">2008-02-27T21:00:00+09:00</DateTime> <Property> <Type>低気圧</Type> <CenterPart> <ProbabilityCircle type="予報円"> <jmx_eb:BasePoint type="中心位置 (度)" description="北緯47度東経152度 ">+47+152</jmx_eb:BasePoint> <jmx_eb:Axes> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字" condition="全域" description="全 域"/> <jmx_eb:Radius type="予報円半径" unit="海里" description="予報円半径100海里 ">100</jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> </jmx_eb:Axes> </ProbabilityCircle> </CenterPart> </Property> </Kind> </pre>	<p>“予報 24時間後”であることを示すとともに予報の諸元の時刻を記述。</p> <p>“低気圧”と記述。</p> <p>“予報円”と示すとともに予報円の諸元を記述。予報円中心の緯度経度を記述。</p> <p>予報円の範囲を記述。 @condition に “全域”と記述。 予報円の半径を記述。</p>
---	---

3-4 警戒する領域の記述例

例	解説
<p>(3-3から続き)</p> <pre> <Area> <Name>低気圧</Name> <jmx_eb:Circle type="影響範囲"> <jmx_eb:BasePoint type="実況位置 (度)" description="北緯35度東経138度 "> </pre>	<p>“低気圧”と記述。 “影響範囲”と記述。 実況の中心位置を記述。</p>

<pre> ">+35+138</jmx_eb:BasePoint> <jmx_eb:Axes> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字">南西</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="600海里">600</jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字">北東</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="300海里">300</jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> </jmx_eb:Axes> </jmx_eb:Circle> <jmx_eb:Circle type="影響範囲"> <jmx_eb:BasePoint type="12時間後位置(度)" description="北緯38度東経145度">+38+145</jmx_eb:BasePoint> <jmx_eb:BasePoint type="24時間後位置(度)" description="北緯47度東経152度">+47+152</jmx_eb:BasePoint> <jmx_eb:Axes> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字">南</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="1100海里">1100</jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字">北</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="600海里">600</jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> </jmx_eb:Axes> </jmx_eb:Circle> </Area> </pre>	<p>影響を及ぼす範囲（距離）を記述。 この例は2方向の距離で記述する場合。長半径または短半径の方向と長さ（半径）を記述。</p> <p>短半径または長半径の方向と長さを記述。</p> <p>“影響範囲”と記述。 12時間後、24時間後の予想までの中心位置を記述。</p> <p>強風域として影響を及ぼす範囲（距離）を記述。 この例は2方向の距離で記述する場合。長半径または短半径の方向と長さ（半径）を記述。 このとき、影響を及ぼす範囲（距離）は予想される24時間以内の最大の警戒域の大きさを記述する。</p>
--	---

例4 海上強風警報の低気圧による警報の例

4-1 警報種類と風の諸元に関する記述例

例	解説
<pre> <MeteorologicalInfos type="全般海上警報"> <MeteorologicalInfo> <DateTime>2017-07-26T21:00:00+09:00</DateTime> <Kind> <Name>海上強風警報</Name> <Code>21</Code> <ClassName>じょう乱</ClassName> <Property> <Type>風</Type> <WindPart> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" description="最大風速 40 ノット">40</jmx_eb:WindSpeed> </WindPart> <WarningAreaPart type="強風域"> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" condition="以上" description="30 ノット以上">30</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:Circle> <jmx_eb:Axes> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8 方位漢字">南</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="1100 海里">1100</jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8 方位漢字">北</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="700 海里">700</jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> </jmx_eb:Axes> </jmx_eb:Circle> </WarningAreaPart> </Property> </Kind> </pre>	<p>警報名を記述。</p> <p>警報のコード番号を記述。</p> <p>“じょう乱”と記述。</p> <p>風の諸元を記述。</p> <p>実況の最大風速を記述。</p> <p>警戒域（強風域）の諸元を記述。</p> <p>警戒域（強風域）の定義を記述。</p> <p>警戒域（強風域）の範囲を記述。この例は2方向の距離で記述する場合。長半径または短半径の方向と長さを記述。</p> <p>短半径または長半径の方向と長さを記述。</p>

```

</jmx_eb:Axes>
</jmx_eb:Circle>
</WarningAreaPart>
</Property>

<Property>
  <Type>風</Type>
  <WindPart>
    <Becoming>
      <TimeModifier>今後 24 時間以内は</TimeModifier>
      <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" condition="以上" description="34 ノット以上">34</jmx_eb:WindSpeed>
    </Becoming>
  </WindPart>
  <WarningAreaPart type="強風域">
    <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" condition="以上" description="30 ノット以上">30</jmx_eb:WindSpeed>
    <jmx_eb:Circle>
      <jmx_eb:Axes>
        <jmx_eb:Axis>
          <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8 方位漢字">南</jmx_eb:Direction>
          <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="1100 海里">1100</jmx_eb:Radius>
        </jmx_eb:Axis>
        <jmx_eb:Axis>
          <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8 方位漢字">北</jmx_eb:Direction>
          <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="700 海里">700</jmx_eb:Radius>
        </jmx_eb:Axis>
      </jmx_eb:Axes>
    </jmx_eb:Circle>
  </WarningAreaPart>
</Property>
</Kind>

```

風の諸元を記述。

最大風速の予想となる対象予想時間を記述する。
対象予想時間内の最大風速値を記述。

TimeModifier 要素の記述を受けた対象予想時間内の予想警戒域（強風域）の範囲を記述。この例は 2 方向の距離で記述する場合。長半径または短半径の方向と長さを記述。

短半径または長半径の方向と長さを記述。

4-2 低気圧の諸元（実況）の記述例

例	解説
<p>(4-1 から続き)</p> <pre data-bbox="220 389 1329 1345"> <Kind> <Condition>発達中</Condition> <DateTime type="実況">2008-02-29T09:00:00+09:00</DateTime> <Property> <Type>低気圧</Type> <CenterPart> <jmx_eb:Coordinate type="中心位置（度）" description="北緯 4 6 度 東経 1 7 6 度 ">+46+176/</jmx_eb:Coordinate> <Location>アリューシャンの南</Location> <jmx_eb:Direction type="移動方向" unit="16 方位漢字">北</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Speed type="移動速度" unit="ノット" description="25 ノット">25</jmx_eb:Speed> <jmx_eb:Pressure type="中心気圧" unit="hPa" description="中心気圧 9 7 8 ヘクトパスカル ">978</jmx_eb:Pressure> </CenterPart> </Property> <Property> <Type>閉塞前線</Type> <CoordinatePart> <jmx_eb:Line type="位置（度）" description="北緯 4 6 度 東経 1 7 6 度、北緯 4 4 度 東経 1 7 9 度、北緯 4 2 度 東経 1 8 0 度">+46+176/+44+179/+42+180/</jmx_eb:Line> </CoordinatePart> </Property> <Property> <Type>温帯前線</Type> <CoordinatePart> <jmx_eb:Line type="位置（度）" description="北緯 4 2 度 東経 1 8 0 度、北緯 3 9 度 西経 1 7 6 度、北緯 3 5 度 西経 1 7 4 度">+42+180/+39-176/+35-174/</jmx_eb:Line> </CoordinatePart> </Property> <Property> </pre>	<p>発達傾向を“発達した”または“発達中”と記述する。 “実況”であることを示すとともに実況の諸元の解析時刻を記述。 “低気圧”と記述。</p> <p>中心位置の緯度経度を記述。</p> <p>中心位置の存在する海域を記述。 中心の移動方向を記述。 中心の移動速度を記述。 中心気圧を記述。</p> <p>必要時、前線の諸元を記述。 閉塞前線の場合。</p> <p>前線の位置を線で記述。</p> <p>温帯前線の場合。</p>

<pre> <Type>寒冷前線</Type> <CoordinatePart> <jmx_eb:Line type="位置（度）" description="北緯42度東経180度、北緯39度西経179度、北緯35度東経179度、北緯30度東経177度、北緯27度東経174度、北緯24度東経170度">+42+180/+39-179/+35+179/+30+177/+27+174/+24+170/</jmx_eb:Line> </CoordinatePart> </Property> </Kind> </pre>	<p>寒冷前線の場合。</p>
--	-----------------

4-3 警戒する領域の記述例

例	解説
<p>(4-2から続き)</p> <pre> <Area> <Name>低気圧</Name> <jmx_eb:Circle type="影響範囲"> <jmx_eb:BasePoint type="実況位置（度）" description="北緯46度東経176度">+46+176/</jmx_eb:BasePoint> <jmx_eb:Axes> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字">南</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="1100海里">1100/<jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字">北</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="700海里">700/<jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> </jmx_eb:Axes> </jmx_eb:Circle> </Area> </pre>	<p>“低気圧”と記述。 “影響範囲”と記述。 実況の中心位置を記述。</p> <p>影響を及ぼす範囲（距離）を記述。 この例は2方向の距離で記述する場合。長半径または短半径の方向と長さを記述。</p> <p>短半径または長半径の方向と長さを記述。</p>

```
<jmx_eb:Circle type="影響範囲">
  <jmx_eb:BasePoint type="24時間後位置(度)"></jmx_eb:BasePoint>
  <jmx_eb:Axes>
    <jmx_eb:Axis>
      <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字">南</jmx_eb:Direction>
      <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="1100海里">1100</jmx_eb:Radius>
    </jmx_eb:Axis>
    <jmx_eb:Axis>
      <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字">北</jmx_eb:Direction>
      <jmx_eb:Radius type="半径" unit="海里" description="700海里">700</jmx_eb:Radius>
    </jmx_eb:Axis>
  </jmx_eb:Axes>
</jmx_eb:Circle>
</Area>
```

“影響範囲”と記述。
強風域として影響を及ぼす範囲(距離)を記述。
この例は2方向の距離で記述する場合。長半径または短半径の方向と長さ(半径)を記述。
このとき、影響を及ぼす範囲(距離)は、予想される24時間以内の最大の警戒域の大きさを記述する。

例5 警報範囲を緯度経度領域で記述する場合

例	解説
<pre> <MeteorologicalInfos type="全般海上警報"> <MeteorologicalInfo> <DateTime>2017-07-26T21:00:00+09:00</DateTime> <Item> <Kind> <Name>海上強風警報</Name> <Code>21</Code> <ClassName>緯度経度領域</ClassName> </Kind> <Kind> <Property> <Type>風</Type> <WindPart> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8 方位漢字">北西</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" condition="以上" description="30 ノット以上">30</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" description="最大風速 35 ノット">35</jmx_eb:WindSpeed> </WindPart> </Property> <Property> <Type>風</Type> <WindPart> < Becoming> <TimeModifier>12 時間以内は</TimeModifier> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" condition="以上" description="最大風速 34 ノット以上">34</jmx_eb:WindSpeed> </Becoming> </WindPart> </Property> </Kind> </Item> </pre>	<p>警報名を記述。 警報のコード番号を記述。 “緯度経度領域”と記述。</p> <p>風の諸元を記述。 この例は実況で風の警報の場合。 風向を記述。 強風域の定義を記述。</p> <p>最大風速を記述。</p> <p>風の諸元を記述。</p> <p>風の警戒域で、最大風速の予想となる対象予想時間を記述する。 対象予想時間内の最大風速値を記述。</p>

<pre> </Kind> <Area> <Name>緯度経度領域</Name> <jmx_eb:Polygon type="位置（度）" description="北緯35度東経128度、北緯28度東経129度、北緯22度東経124度、北緯20度東経119度、北緯20度東経116度、北緯23度東経116度、北緯26度東経120度、北緯30度東経122度、北緯35度東経125度、北緯35度東経128度">+35+128/+28+129/+22+124/+20+119/+20+116/+23+116/+26+120/+30+122/+35+125/+35+128/</jmx_eb:Polygon> </Area> </Item> </MeteorologicalInfo> </MeteorologicalInfos> <MeteorologicalInfos type="全般海上警報"> <MeteorologicalInfo> <DateTime>2017-07-26T21:00:00+09:00</DateTime> <Item> <Kind> <Name>海上濃霧警報</Name> <Code>11</Code> <ClassName>緯度経度領域</ClassName> </Kind> <Kind> <Property> <Type>濃霧</Type> <Text>所々濃い霧のため見通しが悪くなっている</Text> </Property> </Kind> <Area> <Name>緯度経度領域</Name> <jmx_eb:Polygon type="位置（度）" description="北緯30度東経150度、北緯35度東経163度、北緯33度東経180度、北緯28度東経166度、北緯28度東経150度、北緯30度東経150度">+30+150/+35+163/+33+180/+28+166/+28+150/+30+150/</jmx_eb:Polygon> </Area> </Item> </pre>	<p>“緯度経度領域”と記述。 始点と終点が同一の緯度経度を記述した、囲まれた領域を記述。</p> <p>個々の海上警報別に MeteorologicalInfos 要素を繰り返す。</p> <p>警報名を記述。 警報のコード番号を記述。 “緯度経度領域”と記述。</p> <p>濃霧の諸元を記述。 警報事項を記述。 この例は実況で濃霧警報の場合。</p> <p>“緯度経度領域”と記述。 始点と終点が同一の緯度経度を記述した、囲まれた領域を記述。</p>
---	--

例6 警報範囲を領域（海域）で記述する場合

例	解説
<pre> <MeteorologicalInfos type="全般海上警報"> <MeteorologicalInfo> <DateTime>2017-07-26T21:00:00+09:00</DateTime> <Item> <Kind> <Name>海上強風警報</Name> <Code>21</Code> <ClassName>領域</ClassName> <Property> <Type>風</Type> <WindPart> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" description="最大風速 35 ノット " >30</jmx_eb:WindSpeed> </WindPart> </Property> <Property> <Type>風</Type> <WindPart> <Becoming> <TimeModifier>今後 24 時間以内に</TimeModifier> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8 方位漢字">西</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8 方位漢字">南西</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" condition="以上" description="30 ノット 以上" >30</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="ノット" description="最大風速 45 ノット " >35</jmx_eb:WindSpeed> </Becoming> </WindPart> </Property> </Kind> </pre>	<p>警報名を記述。</p> <p>警報のコード番号を記述。</p> <p>“領域”と記述。</p> <p>風の諸元を記述。</p> <p>実況の最大風速を記述する。</p> <p>風の諸元を記述。</p> <p>実況より予想の最大風速が大きい場合、予想時間を記述。</p> <p>風向を記述。</p> <p>強風域の定義を記述。</p> <p>予想の最大風速を記述。</p>

<pre> <Area> <Name>日本海</Name> <Code>9010</Code> </Area> </Item> </MeteorologicalInfo> </MeteorologicalInfos> <MeteorologicalInfos type="全般海上警報"> <MeteorologicalInfo> <DateTime>2017-07-26T21:00:00+09:00</DateTime> <Item> <Kind> <Name>海上濃霧警報</Name> <Code>11</Code> <ClassName>領域</ClassName> </Kind> <Kind> <Property> <Type>濃霧</Type> <Text>所々濃い霧のため見通しが悪くなっている</Text> </Property> </Kind> <Area> <Name>オホーツク海</Name> <Code>9050</Code> </Area> </Item> </MeteorologicalInfo> </MeteorologicalInfos> <MeteorologicalInfos type="全般海上警報"> <MeteorologicalInfo> <DateTime>2017-07-26T21:00:00+09:00</DateTime> <Item> </pre>	<p>海域名を記述。 海域コードを記述。</p> <p>警報名を記述。 警報のコード番号を記述。 “領域”と記述。</p> <p>濃霧の諸元を記述。 警報事項を記述。 この例は実況で濃霧警報の場合。</p> <p>海域名を記述。 海域コードを記述。</p>
---	--

```
<Kind>
  <Name>海上着氷警報</Name>
  <Code>10</Code>
  <ClassName>領域</ClassName>
</Kind>
<Kind>
  <Property>
    <Type>着氷</Type>
    <Text>弱い着氷となるおそれがある</Text>
  </Property>
</Kind>
<Area>
  <Name>オホーツク海</Name>
  <Code>9050</Code>
</Area>
</Item>
```

警報名を記述。
警報のコード番号を記述。
“領域”と記述。

着氷の諸元を記述。
警報事項を記述。

海域名を記述。
海域コードを記述。

例7 概況のじょう乱などの場合

例	解説
<pre> <MeteorologicalInfos type="概況"> <MeteorologicalInfo> <DateTime>2017-07-26T21:00:00+09:00</DateTime> <Item> <Kind> <ClassName>気圧系</ClassName> <Property> <Type>高気圧</Type> <CenterPart> <jmx_eb:Coordinate type="中心位置（度）" description="北緯42度東経134度">+42+134</jmx_eb:Coordinate> <jmx_eb:Direction type="移動方向" unit="16方位漢字" condition="不定" description="不定"/> <jmx_eb:Speed type="移動速度" unit="ノット" condition="ほとんど停滞" description="ほとんど停滞"/> <jmx_eb:Pressure type="中心気圧" unit="hPa" description="中心気圧1012ヘクトパスカル">1012</jmx_eb:Pressure> </CenterPart> </Property> </Kind> <Area> <Name>高気圧</Name> <jmx_eb:Coordinate type="中心位置（度）" description="北緯42度東経134度">+42+134</jmx_eb:Coordinate> </Area> </Item> </MeteorologicalInfo> </MeteorologicalInfos> <MeteorologicalInfos type="概況"> <MeteorologicalInfo> </pre>	<p>“気圧系”または“前線”と分類を記述。</p> <p>分類に応じた種類を記述。この例は“高気圧”的場合。</p> <p>中心位置の緯度経度を記述。</p> <p>中心の移動方向を記述。この例は不定の場合。</p> <p>中心の移動速度を記述。この例は“ほとんど停滞”的場合。</p> <p>中心気圧を記述。</p> <p>中心位置の緯度経度を記述。</p> <p>個々の概況別に Meteorological Infos 要素を繰り返す。</p>

<pre> <DateTime>2017-07-26T21:00:00+09:00</DateTime> <Kind> <ClassName>気圧系</ClassName> <Property> <Type>熱帯低気圧</Type> <ClassPart> <jmx_eb:TyphoonClass type="熱帯低気圧階級">熱帯低気圧</jmx_eb:TyphoonClass> </ClassPart> <CenterPart> <jmx_eb:Coordinate type="中心位置（度）" description="北緯22度東経106度">+22+106</jmx_eb:Coordinate> <jmx_eb:Direction type="移動方向" unit="16方位漢字" description="北北西">北北西 </jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Speed type="移動速度" unit="ノット" condition="ゆっくり" description="ゆっくり"/> <jmx_eb:Pressure type="中心気圧" unit="hPa" description="中心気圧996ヘクトパスカル">996</jmx_eb:Pressure> </CenterPart> <Text>台風1508（クジラ）からかわった熱低</Text> </Property> </Kind> <Area> <Name>熱帯低気圧</Name> <jmx_eb:Coordinate type="中心位置（度）" description="北緯22度東経106度">+22+106</jmx_eb:Coordinate> </Area> </Item> </pre>	<p>“気圧系”と分類を記述。</p> <p>この例は“熱帯低気圧”と記述。</p> <p>熱帯じょう乱の階級“熱帯低気圧”を記述。</p> <p>中心位置の緯度経度を記述。</p> <p>中心の移動方向を記述。</p> <p>中心の移動速度を記述。この例は“ゆっくり”的な場合。</p> <p>中心気圧を記述。</p> <p>台風からかわった熱帯低気圧または低気圧がある場合は、“台風1508（クジラ）からかわった熱低”のように記述する。</p> <p>中心位置の緯度経度を記述。</p>
--	---

例8 海上暴風警報の発生予想低気圧による警報の例

例	解説
<pre> <MeteorologicalInfos type="全般海上警報"> <MeteorologicalInfo> <DateTime>2017-07-26T21:00:00+09:00</DateTime> <Item> <Kind> <Name>海上暴風警報</Name> <Code>22</Code> <ClassName>じょう乱</ClassName> ~ (略) ~ </Kind> <Kind> <Condition>発生予想</Condition> <DateTime type="予報 24時間後">2017-07-27T21:00:00+09:00</DateTime> <Property> <Type>低気圧</Type> <CenterPart> <ProbabilityCircle type="予報円"> <jmx_eb:BasePoint type="中心位置 (度)" description="北緯32度東経136度">+32+136</jmx_eb:BasePoint> <jmx_eb:Axes> <jmx_eb:Axis> <jmx_eb:Direction type="方向" unit="8方位漢字" condition="全域" description="全域"/> <jmx_eb:Radius type="予報円半径" unit="海里" description="予報円半径85海里">85</jmx_eb:Radius> </jmx_eb:Axis> </jmx_eb:Axes> </ProbabilityCircle> <jmx_eb:Direction type="移動方向" unit="16方位漢字" description="東北東">東北東 </jmx_eb:Direction> </Property> </Item> </MeteorologicalInfo> </MeteorologicalInfos> </pre>	<p>“発生予想”と記述する。</p> <p>“予報 24時間後”であることを示すとともに予報の諸元の時刻を記述。</p> <p>“低気圧”と記述。</p> <p>“予報円”と示すとともに予報円の諸元を記述。</p> <p>予報円中心の緯度経度を記述。</p> <p>予報円の範囲を記述。@conditionに“全域”と記述。</p> <p>予報円の半径を記述。</p> <p>中心の移動方向を記述。</p>

<pre> <jmx_eb:Speed type="移動速度" unit="ノット" description="25"/> </CenterPart> </Property> </Kind> <Area> <Name>低気圧</Name> <jmx_eb:Circle type="影響範囲"> <jmx_eb:BasePoint type="24時間後位置（度）" description="北緯35度東経138度">+35+138/</jmx_eb:BasePoint> ~ (略) ~ </Area> </pre>	<p>中心の移動速度を記述。</p> <p>“低気圧”と記述。 “影響範囲”と記述。 24時間後の予想の中心位置を記述。</p>
---	--

例9 全般海上予報の例

例	解説
<pre> <MeteorologicalInfos type="全般海上予報"> <MeteorologicalInfo> <DateTime>2025-07-26T09:00:00+09:00</DateTime> <Duration>PT24H</Duration> <Item> <Kind> <Property> <Type>風</Type> <WindPart> <Sentence>北東 25ノット (13メートル) </Sentence> <Base> <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8方位漢字">北東</jmx_eb:WindDirection> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="ノット" description="25ノット">25</jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="風速" unit="m/s" description="13メートル">13</jmx_eb:WindSpeed> </Base> </WindPart> </Property> </Kind> <Kind> <Property> <Type>波</Type> <WaveHeightPart> <Sentence>4メートル やや高いうねりを伴う</Sentence> <Base> <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" description="4メートル" condition="やや高いうねりを伴う">4</jmx_eb:WaveHeight> </Base> </WaveHeightPart> </Property> </Kind> </pre>	<p>予報の要素名を記述する。</p> <p>予想の最大風速を記述する。</p>
	<p>予報の要素名を記述する。</p> <p>予想の最大波高を記述する。</p> <p>この例はやや高いうねりを伴う場合。</p>

```
</Property>
</Kind>

<Area>
  <Name>日本海</Name>
  <Code>9010</Code>
</Area>

</Item>
```

海域名を記述。
海域コードを記述。

—以上—